

地方独立行政法人玉野医療センター
令和4年度の業務実績に関する評価結果

令和5年8月
玉野市

地方独立行政法人玉野医療センター業務実績に関する評価結果

1. 全体評価

令和4年度の業務実績に関する評価結果は、「中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。」と評価する。

(1) 評価の判断理由

第2から第5までの全ての大項目で評価結果を「B」とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗していると判断した。

大項目	評価
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	B
第4 財務内容の改善に関する事項	B
第5 その他業務運営に関する重要事項	B

(2) 評価にあたり考慮した事項

全体の評価にあたり特に考慮した事項は以下のとおりである。

- ① 全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続いている期間であり、コロナ禍という特異な医療環境での運営となったため、目標値の達成や事業の実施にあたり一定の考慮をしたうえで評価を行っている。
- ② 新型コロナウイルスへの対応では市内で唯一の感染症確保病床を有するとともに、ワクチン接種においても公的病院として役割を果たしている。
- ③ 医師会との関係構築のため毎月の協議に参画するとともに、医療連携の具体的な取組みとして紹介率、逆紹介率の向上を目標として院内への周知がされている。
- ④ 休日当番医やワクチン接種などの行政施策との連携においても、地域の医療機関と役割分担を行ったうえで、中心的な役割を担っている。
- ⑤ 公的病院の役割として期待されている新型コロナウイルスへの対応に尽力することにより、新型コロナウイルス関連の補助金等が受けられ、一時的ではあるが収入の確保による経営基盤の安定化につながっている。
- ⑥ 感染状況の拡大により直接の接触機会が減少し、学会への参加や研究発表の機会は減少している一方、地域との交流は参加の機会が戻ってきている。
- ⑦ 人員配置の問題から、内部統制や内部監査を実施する体制は構築できておらず、早急な対応が望まれる。
- ⑧ 一部の職場においては長時間の超過勤務が発生しており、昨年度から改善はしているものの、引き続き対応が必要である。

(3) 全体評価にあたっての意見、指摘等

- ① 新型コロナウイルス感染症の対応では、患者の入院受入体制を整備し、公的病院として中心的な役割を果たしたことは評価できる。
- ② 新型コロナウイルス関連の補助金による一時的な収入がなくなった後でも、安定的な経営が継続できるよう収入の確保に努める必要がある。
- ③ 医師確保に向けた取り組みにより、令和5年度から地域枠の内科医師の配置や寄付講座開設による小児科医師の派遣につながったことは評価できる。
- ④ 一部職員に長時間の超過勤務が続いていること、人員配置の問題から事務部門の管理体制の整備が不十分であることから、早期の改善が望まれる。

2. 項目別評価

(1) 評価の基準

(地方独立行政法人玉野医療センター業務実績評価に係る実施要領より)

[小項目評価基準]

- 「5」：年度計画を大幅に上回って実施している。
- 「4」：年度計画を上回って実施している。
- 「3」：年度計画どおりに実施している。
- 「2」：年度計画を下回っている。
- 「1」：年度計画を大幅に下回っている、又は実施できていない。

[大項目評価基準]

- 「S」：中期目標・中期計画の実現に向けて著しく進捗している。
(小項目評価の平均点が4.5以上)
- 「A」：中期目標・中期計画の実現に向けて順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が3.5以上4.5未満)
- 「B」：中期目標・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している。
(小項目評価の平均点が2.5以上3.5未満)
- 「C」：中期目標・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5以上2.5未満)
- 「D」：中期目標・中期計画の実現から大幅に遅れている。
(小項目評価の平均点が1.5未満)

(2) 大項目評価

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目		評価
1 担うべき医療提供体制	(1) 救急医療	3
	(2) 小児・周産期医療	4
	(3) リハビリテーション医療	3
	(4) 検診・予防医療	3
	(5) 在宅医療	3
	(6) 災害医療	3
	(7) 新たな感染症への対応	4
2 医療の質の向上	(1) 地域医療への貢献	3
	(2) 相乗効果の発揮	3
	(3) チーム医療の実施	3
	(4) 医療従事者の確保及び育成	4
	(5) 調査・研究・治験への取組み	3 2
3 患者サービスの向上	(1) 患者中心の医療の提供	3
	(2) 地域との交流	3
	(3) 医療安全対策	3
	(4) 積極的な情報発信	3
	(5) コンプライアンスの徹底	2
4 医療機関との連携		3
5 関係機関との連携	(1) 行政機関との連携	3
	(2) 医師会等との連携	3
	(3) 教育機関との連携	3
平均		3.1 3.0

評価結果 B

(i) 判断理由

小項目21項目中19項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

(ii) 評価にあたり考慮した事項

法人による2病院での運営体制が2年目となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、入院患者が一時的に新規受入れ停止となる等の制限を行うことが

あったものの、困難な状況下でも医療提供体制は維持されていた。2病院間での統合に向けて各部門での人事交流、人事異動に積極的に取り組み、新病院の開業に向けた準備は全体として計画通りに進んでいる。

一方で、内部統制については人員配置の問題から実行不足と考えられる点も見受けられることから、病院運営の根幹となる患者に対して提供されるサービスの質の向上が得られるよう早期の対応が必要である。

新型コロナウイルス感染症が流行する中で、予防医療や感染症対応にあつては市内の医療機関の中心的な役割として行政とも連携して対応し、公的病院の役割を果たした。

令和4年度の医師確保の取り組みにより令和5年度から、岡山大学地域卒卒業の内科医師1名の派遣が決まったこと、寄付講座を開設することで岡山大学から小児科医師2名の派遣が決まったことは地域医療の機能を維持する観点から高く評価している。

(iii) 評価にあたっての意見、指摘等

- ① 現状では市外の医療機関に救急搬送される割合が高くなっているが、市民のために可能な限り玉野医療センターで完結できる体制の構築に努めてもらいたい。
- ② 開業医が担う外来機能と病院が担う入院機能との役割分担をする地域包括ケアシステムの中で後方支援病院として中心的な役割を担って欲しい。
- ③ 新病院では新たな感染症に対する医療提供体制の構築にも期待している。
- ④ 検診の件数を増加させるためには、行政との連携が必要である。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの中で外来の機能と病院の機能を明確に分けて、紹介率と逆紹介率を向上させて高い水準を目指して欲しい。
- ⑥ コロナ禍以降、対面以外にオンラインでも開催するハイブリッド研修が普及しているため、研修の機会を積極的に設けることで医療水準の向上に努めてもらいたい。
- ⑦ 地域医療のレベルの向上にも繋がるため、医療センターと医師会で勉強会を行う等顔の見える関係を継続的に作って欲しい。
- ⑧ 医療センターの取り組みが分かるように研究発表会を公開で実施して欲しい。
- ⑨ 研修医に対しては経験を積むために、研究発表が行える環境を整える必要がある。
- ⑩ 新病院では、住民からも午後診療の実施を望む声が多いため、午後診療を実施する方向で進めて欲しい。
- ⑪ 医療従事者の確保のためにも地元の専門学校との連携は大切にしてもらいたい。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目		評価
1 業務運営体制の構築	(1) 運営体制	3
	(2) 管理体制の強化	2
	(3) 外部評価等の活用	3
2 職場環境の整備	(1) 働きやすい職場環境の整備	2
	(2) 職員の職務能力の向上	2
	(3) 効果的な人事・給与制度の構築	3
平均		2.5

評価結果 B

(i) 判断理由

小項目6項目中3項目で2としたものの、その他は全て3の評価とし、平均2.5であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

(ii) 評価にあたり考慮した事項

小項目のうち2の評価としたものは、いずれも職員の配置に関係するものとなっており、新病院が完成した後は2病院の職員が合流なども見据え無計画に職員の採用を行うことはできないが、法人運営の改善及び効率化に必要となる人員については新規の採用も含めた柔軟な人の配置について検討が必要である。

(iii) 評価にあたっての意見、指摘等

- ① 時間外労働が多くなっている問題には、人材派遣を活用するべきではないか。
- ② 昨年の評価から改善されていない部分もあるため、しっかり対応して欲しい。

第4 財務内容の改善に関する事項

小項目		評価	
1	経営基盤の確立	3	
2	収入の確保と経費の節減	(1) 収入の確保	3
		(2) 経費の節減	3
3	運営費負担金	3	
平均		3.0	

評価結果 B

(i) 判断理由

小項目4項目中全ての項目で3以上の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

(ii) 評価にあたり考慮した事項

令和4年度の経営状況としては、法人全体で黒字となっているが、新型コロナウイルス感染症の流行期という特異な医療環境の中にあつて、病床確保やワクチン接種等の感染症対応へ注力したことともなう補助金が収入の内の大きな部分を占める一方、本業の医業収益は目標を下回る結果となっており、継続的な経営の安定化とは言えない状況である。

新型コロナウイルス関連の補助金の終了を見据え、経営基盤の強化に向けて、理事長を中心に効率的な組織運営と職員の独立採算の意識を醸成する取り組みを行い、医業収益の確保と経費の節減に引き続き努める必要がある。

(iii) 評価にあたっての意見、指摘等

- ① 経営の目標としている病床稼働率等を計画通りに達成していくことが大切である。

第5 その他業務運営に関する重要事項

小項目	評価
1 新病院の整備	3
2 新病院への移行	3
平均	3

評価結果 B

(i) 判断理由

小項目2項目中全ての項目を3の評価とし、中期目標・中期計画の実現に向けて順調な進捗状況であるため、大項目の評価として「B」の評価が妥当であると判断した。

(ii) 評価にあたり考慮した事項

令和4年度は新病院の整備として、令和5年2月に新病院の建設工事に着手し、設計委託業者、施工業者等と協議を行い、必要な機能を整理して費用の圧縮に努めながら、新病院の整備及び移行の準備については着実に進捗している。

(iii) 評価にあたっての意見、指摘等

- ① 新病院までのバスルートやバス停の位置等は利用者の利便性を考えてしっかりと検討して欲しい。